



神奈川県畜産会のホームページ
「かながわ畜産ひろば」
[http://kanagawa.lin.gr.jp/index.htm]

神奈川畜産情報

発行所
神奈川県畜産会
横浜市磯子区西町14-3
畜産センター内
電話 045 (761) 4191
FAX 045 (759) 1162
発行人
高 桑 光 雄

隔月1回（1日）発行

〔神奈川畜産情報（平成18年1月号以降）はホームページでもご覧になれます〕



表彰の様子



受賞農家
集合写真

●表彰式について
平成二十八年一月二十九日に表彰式が開催され、表彰だけでなく各受賞農家の取り組み事例もスライドで紹介されるなど研修要素も含まれた内容で、盛会のうちに終了しました。

審査方法は、まず県内を五つの地域に分け、それぞれの地域ごとに審査を行い（地域審査）、各地域から推薦のあった二十農場について県審査を行った結果、最優秀賞（県知事賞）一農場、優秀賞三農場、優良賞三農場、奨励賞二農場が決定しました。

このコンクールでは乳牛・肉牛・養豚・養鶏の四部門に分かれ、畜舎の周りについてきれいな景観が形成されているか（畜舎周辺の環境美化）、臭気・騒音・家畜の疾病予防等の対策をしているか（畜舎等の衛生対策）、家畜ふん堆肥について農地等に還元されているか（資源循環の実施状況）、地域での社会見学の受入や消費者との交流等特色のある取り組みが行われているか（特色のある取り組み）等の四つの項目について審査を行いました。

平成二十七年神奈川県畜産環境コンクールが開催されました

●審査結果について

神奈川県畜産環境コンクールは畜産について広く県民の方々から理解・信頼を得ること、畜産農家への意識啓発を図ることを目的として、今年度で三回目の開催となり、県内百五十戸の畜産農家が参加しました。

●最優秀賞、優秀賞受賞農家に対する記念品（看板）贈呈



最優秀賞 乳牛の部



優秀賞 肉牛の部



優秀賞 養豚の部



優秀賞 養鶏の部

●受賞農家

- ・最優秀賞 有限会社 石田牧場（乳牛・伊勢原市）
- ・優秀賞 有限会社 原牧場（肉牛・伊勢原市）
- 株式会社 みやじ豚（養豚・藤沢市）
- ・優良賞 織茂養鶏場（養鶏・横浜市）
- 有限会社 尾崎牧場（乳牛・平塚市）
- 柿澤牧場（乳牛・茅ヶ崎市）
- 田中勝美（乳牛・横浜市）
- ・奨励賞 和田悟（乳牛・藤沢市）
- 有限会社 比留川畜産（養豚・綾瀬市）

死亡牛届出連絡先	
連絡先(電話番号、FAX)	所管区域
県央家畜保健衛生所 電話046-238-9111(代表) 携帯080-3403-0157※ FAX 046-238-9124	横浜市、川崎市、横須賀市、鎌倉市、逗子市、相模原市、三浦市、厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、三浦郡、愛甲郡
湘南家畜保健衛生所 電話0463-58-0152(代表) 携帯080-3403-0156※ FAX 0463-58-5679	平塚市、小田原市、秦野市、伊勢原市、南足柄市、中郡、足柄上郡、足柄下郡、※藤沢市、茅ヶ崎市、高座郡 は県央家保死亡牛保管施設へ搬入

※休日開庁日のみ、死亡牛の届出は携帯電話をお願いします。
休日開庁日の届出はFAXをお願いします。

平成 28 年度 死亡牛届出受付、受入日程																	
		月	火	水	木	金	土	日			月	火	水	木	金	土	日
4月						1	2	3	10月							1	2
	4	5	6	7	8	9	10	3		4	5	6	7	8	9		
	11	12	13	14	15	16	17	10		11	12	13	14	15	16		
	18	19	20	21	22	23	24	17		18	19	20	21	22	23		
	25	26	27	28	29	30		24		25	26	27	28	29	30		
5月								1	11月								
	2	3	4	5	6	7	8			1	2	3	4	5	6		
	9	10	11	12	13	14	15	7		8	9	10	11	12	13		
	16	17	18	19	20	21	22	14		15	16	17	18	19	20		
	23	24	25	26	27	28	29	21		22	23	24	25	26	27		
6月	30	31							12月	28	29	30					
				1	2	3	4	5					1	2	3	4	
	6	7	8	9	10	11	12	5		6	7	8	9	10	11		
	13	14	15	16	17	18	19	12		13	14	15	16	17	18		
	20	21	22	23	24	25	26	19		20	21	22	23	24	25		
7月	27	28	29	30					1月	26	27	28	29	30	31		
					1	2	3										1
	4	5	6	7	8	9	10	2		3	4	5	6	7	8		
	11	12	13	14	15	16	17	9		10	11	12	13	14	15		
	18	19	20	21	22	23	24	16		17	18	19	20	21	22		
8月	25	26	27	28	29	30	31		2月	23	24	25	26	27	28	29	
								30		31							
	1	2	3	4	5	6	7					1	2	3	4	5	
	8	9	10	11	12	13	14	6		7	8	9	10	11	12		
	15	16	17	18	19	20	21	13		14	15	16	17	18	19		
9月	22	23	24	25	26	27	28		3月	20	21	22	23	24	25	26	
	29	30	31					27		28							
				1	2	3	4				1	2	3	4	5		
	5	6	7	8	9	10	11	6		7	8	9	10	11	12		
	12	13	14	15	16	17	18	13		14	15	16	17	18	19		
	19	20	21	22	23	24	25			20	21	22	23	24	25	26	
	26	27	28	29	30			27		28	29	30	31				

□ 受入日 ■ 開庁日 ※ 検査月齢は48ヶ月齢以上です

現在契約中の牛マルキンは平成二十八年三学期の補填金交付をもって業務対象年が終了し、基金に残額がある場合には生産者積立金を返還しますが、まず在庫牛（すでに積立金を納付した牛で、販売されていない牛）への優先返

●平成二十七年第3四半期
十一月販売牛補填金単価（概算）
肉専用種 〇円
交雑種 〇円
乳用種 〇円
●平成二十七年第3四半期
十二月販売牛補填金単価（精算）
肉専用種 〇円
交雑種 〇円
乳用種 〇円

牛マルキン事業

●平成二十七年 十一月・十二月
販売牛の補填金単価報告

●平成二十八年度神奈川県畜産環境コンクルの開催について
平成二十八年度につきましても引き続き当該コンクールを開催する予定です。皆様の積極的な参加をお願いします。
（県畜産課畜産環境グループ）

肉用子牛生産者補給金制度

平成二十七年第3四半期（二十七年十一月）の指定肉用子牛の品種区分ごとの平均売買価格は次のとおりでした。

黒毛和種 七〇七、七〇〇円
交雑種 三八九、八〇〇円
乳用種 二六二、三〇〇円

黒毛和種・交雑種・乳用種は保証基準価格、合理化目標価格を共に上回っているため、生産者補給金の交付はありません。

なお、肉用牛繁殖経営支援事業に関しては、「黒毛和種」について、交付はありません。
（一般社団法人神奈川県畜産会）

●平成二十八年度死亡牛の届出受付、受入日程について
平成二十八年度の家畜保健衛生所における死亡牛（四十八ヶ月齢以上）の届出受付、受入日程を次のとおり（別表「死亡牛届出受付、受入日程」としましたのでお知らせ）
（県畜産課安全管理グループ）

国会難段賑やかに 真の議論は空回り

一月は行って、二月は逃げて、心地良い陽ざしを連れて三月がやって来ました。大切に仕舞われたいお雛様の出番です。三日には白酒で、いや焼酎の牛乳割りで雛祭りも内裏様だけではないでしょうか。雛飾りもお内裏様だけではちよつと寂しいでしょうが、三段飾りともなると賑やかですね。賑やかと言えばこのところの国会も賑やかです。雛飾りならば二段目の閣僚に起用された三人官女の失言失態がメディアを賑わせています。

新むらすずめ

（官女の二）島尻安伊子 沖縄北方担当相 担当する北方の四諸島名「択捉、国後、歯舞、色丹のハボマイが読めなかった。心そこにあらずか？ 帳尻も合わないのでは。（官女の三）丸川珠代 環境相 原発事故の被曝線量は何の科学的根拠はない...と言った、言わない、オポエてない

今日もまた 朝もはやから二枚舌これに加えて野党議員の意地悪質問クイズ「環境の日」記念日を知ってるか」六月一日と答えてしまった。五日が正しかった。四日ほどの前倒しくらい許したら。タマタマ言い間違えただけなのか。三段目のお飾りには五人囃子が。①宮崎謙介 前衆院議員

平成二十八年度死亡牛の届出受付、受入日程について

平成二十八年度の家畜保健衛生所における死亡牛（四十八ヶ月齢以上）の届出受付、受入日程を次のとおり（別表「死亡牛届出受付、受入日程」としましたのでお知らせ）
（県畜産課安全管理グループ）

引き続き、死亡牛BSE検査の円滑な実施へのご協力をお願いします。

地方競馬の収益金は畜産振興に役立っています。

川崎競馬開催日

28年3月28日(月)～4月 1日(金)
28年5月 9日(月)～5月13日(金)
ナイター開催

育メンババの筈がイケメンだったためか不倫亭主に。そして辞任。

②溝手顕正 参院議員会長 不倫議員の辞職表明がウラヤマシイとか、何がウラヤマシイのか。

③麻生太郎 財務相

軽減税率導入で商店の一つや二つ百、千 廃業に。畜産農家、企業の一つや二つなんて言うなよ。

④丸山和也 参院議員

「アメリカは黒人が大統領になっている。これ、奴隷ですよ」と。

⑤甘利 明 前経済再生相

秘書が口利き料を請求、本人もボケットに。詳細は調査中。

浅茅生の小野のしの原しのぶれどあまりてなどか人のこひしき

（余利 呆）か？

詠み人知らずか？（忠九朗）

狂歌

浅知恵の秘書の為す事しのぶれどあまりてなどか金のこひしき

（参議 等）

「肉用牛技術講習会」開催！

肉用牛経営技術の向上を図るため毎年開催しています。ふるって参加下さい。開催概要は次のとおりです。

日時 平成二十八年三月十一日
（金） 十時半（受付開始）から十五時まで
場所 厚木市農協本所
4階大会議室『夢』

（午前の部）

十時四十五分～十二時十五分
演題 「肉用牛関連事業について」
（牛マルキン事業、繁殖牛増頭事業等）

講師 県畜産課畜産振興 G

演題 「管内における農場 HACCP の取組について」
講師 県史家畜保健衛生所 横澤こころ氏

（午後の部）

十三時～十四時半
演題 「肉用牛経営における事業継承・相続税対策」（法人化のメリット・デメリット）

講師 朝日税理士法人 税理士 小竹 勝氏

問合せ先
（二社） 神奈川県畜産会
TEL（045） 76114191



研究情報

養豚場現場における

臭気評価方法の検討

【はじめに】

畜産を営むうえで、臭いの発生は切っても切れない関係です。畜産に関連する苦情の多くが悪臭に起因していると言われており、特に本県のような都市型畜産では、臭気対策が必要不可欠となっております。

臭気対策はこれまで、主に悪臭防止法に規定された特定悪臭物質の低減を目的として検討されてきました。しかし、特定悪臭物質の分析には経費と時間がかかるうえ、多くの地域で法規制が官能評価（臭気指数の測定）に移行していることから、現場で、簡易かつ迅速に、さらに、複合臭を対象に臭気を評価し、対策につなげる手法の開発が望まれています。

そこで当所では、養豚場、特に豚舎で発生する臭気を現場で評価する際に基準となる臭いすなわち、「基準臭」を作成し、臭気を評価・検査する手法を検討することを目的に、平成二十六年度から試験課題「養豚場現場における臭気評価方法の検討」に取り組んでいますので、その内容を紹介します。

【養豚場における臭気発生源の解明】

畜産に関連する臭気の強さを簡単に測定できる「畜環研式ニオイセンサ」（東京デオドラント）（写真1）

真1）を用いて、平成二十六年八月当所豚舎周囲と豚舎内で測定をおこないました。

豚舎周囲の測定は、作業を行っていない時間帯（午前中）に実施しました。

この結果、測定値が大きいほど臭いが強いことを意味しており、豚舎ごとに臭いの強弱がありまし

た。なお、測定値の大小は体感での臭いの強弱とおおむね合致していました。このように畜環研式ニオイセンサを用いることで、農場内で臭いの強い地点を容易に把握することができました。ふんの発熱量が最も多い豚舎は、臭いも最も強い結果になりました。（図1）

豚舎周囲での測定値が大きかった豚舎については、舎内でも測定を行いました。この結果、平常時は測定値十八、スクレーパー作動時は二十一と、大きくなること

がわかりました。このように作業ごとに測定を行えば、作業ごとの臭気発生の程度を確認することができます。

【豚ふんから発生する悪臭の基準臭作成】

豚舎における臭気発生源のひとつと考えられる豚ふんから、臭気成分を抽出して固定し、養豚場特有の臭気を再現できるか検討しました。

豚ふんに含まれる臭気成分の抽出は、当所飼養豚のふん、七十一及び八十五日齢（各七頭）の排泄物

つ直後のふんを混合しました。豚ふんに含まれる臭気成分を溶媒中に抽出し、ガスクロマトグラフ質量分析により分析した結果、表1

のように、特定悪臭物質ではない臭気成分が検出されました。

得られた抽出液は、溶媒を揮発させた後に残った臭いを嗅ぐことで、そこに含まれる臭気成分を確認することができました。このような処理をしたところ、表2のとおり、従来から畜舎関連臭気とされている低級脂肪酸が含まれる抽出物（ア）と、その他の臭気成分も含まれている抽出物（イ）の二種類が確認できました。これらを用いて官能評価を行ったところ、十二名の被験者全員が、後者について「豚舎、豚特有の悪臭と感じられる」と回答しました。

この抽出物に含まれる臭気成分のうち、人が臭いを感じられる最小濃度より高濃度で検出されたものが、「豚舎、豚特有の悪臭と感じられる」臭気的主要な成分と考えられました。

【今後の取組み】

飼養状況の異なる養豚場ではふん中に含まれる臭気成分に差異があるか、豚ふん中の臭気成分が実際に豚舎臭気からも検出されるか、今年度も検討を続けています。

また、「豚舎、豚特有の悪臭と感じられる」臭気を形成する臭気成分に対する防脱臭技術の開発が今後の検討課題と考えています。

【おわりに】

悪臭による苦情を解決するため引き続き試験に取り組んでいきたいと思ひます。生産者の皆様はじめ関係各位のご協力をよろしくお願い致します。

（神奈川県畜産技術センター 企画指導部企画研究課 技師 高田陽）

家保だより

消毒を実施しましょう！

韓国では口蹄疫が、台湾では高病原性鳥インフルエンザが継続的に発生しており、今年に入っても発生が報告されています。また、国内においては、今冬も豚流行性下痢の発生が散発的に続いており、関東近県でも発生が報告され、注意が必要です。

大切な家畜を伝染病から守るためには、日頃の消毒が必要不可欠

です。効果的な消毒を実施するため、消毒方法を再確認しましょう。消毒薬は、用法、用量を守って使いましょう。濃度が高すぎても低すぎても、効果が低下してしまっただけではなく、人や家畜に有害な場合もあります。また、消毒薬の中には刺激性の強いものもありますので、使用する際には、手袋やマスク、ゴーグルを装着するなどの対策をとりましょう。種類の違う消毒薬を混ぜると有毒ガスが発生したり、効果が無くなる場合もあるので、避けるようにしましょう。

農場に出入りする車両の消毒は、タイヤのみを消毒するのではなく、泥よけの内側部分も消毒するようにしましょう。また、足下マットやハンドル等運転席周りの消毒も実施するようにしましょう。

踏込消毒槽の消毒液は、汚れていると効果が薄れてしまいます。靴底の汚れを洗い流してから、消毒しましょう。また、消毒薬が汚れていることに気づいたら、すぐに交換するようにしましょう。雨水が入ったり、直射日光が当たる場所では、消毒効果が薄れてしまいますので、踏込消毒槽に覆いを

するなどの工夫をしましょう。消石灰による消毒は、一平方メートルあたり一キログラムを目安に表面がムラ無く白くなる程度散布しましょう。ただし、畜体にふれる床などは注意が必要です。雨で固まった状態では効果が発揮されない

ので、雨が降ったあとは再度散布を行うようにしましょう。

農場出入口における防疫対策が伝染病を防ぐ防波堤になります。再徹底をよろしくお願い致します。

（県史家畜保健衛生所 仲澤）

大野山たより

今年度末で大野山乳牛育成牧場が四十八年の歴史を閉じるため、その足跡を若干振り返ってみます。当牧場は急傾斜地にあるが

故、尾根伝いの比較的傾斜がなだらかな草地以外はトラクターなどの機械が使えず、はたまた集中豪雨が来れば土砂が流出し、講じた防災対策は数知れずといった過酷な条件にあります。開牧以来三千四百三十七頭の預託牛を受入れ、毎年百近い受胎成績を維持してきました（最も受入が多かった市町村は平塚市で、全預託牛の十七・八％、次いで相模原市十五・四％、秦野市十・五％）。当牧場に勤務した獣医・畜産の技術職は実六十二名、延二百八十五名、現業職員は実四名、非常勤職員は実四十五名にも上り、諸先輩方の積み重ねた苦労は私の想像をぞとでも及ぶもつかないところですが、何より、長きに亘り牧場に期待をお寄せいただいた酪農家の皆様には感謝の気持ちで一杯です。

一方、平成十九年四月に県民とのふれあい交流拠点として開館したまきば館の来館者数は八年間四十万人を突破しました。これは横須賀市の人口に匹敵する数字です（二十七年十二月末時点）。チーズ作りやエサやりが体験できる畜産交流教室は八年間二百十二回開催し、八千六百三十五人の方が参加、この間、モニタリングした参加者アンケートでは、実に九十九％以上の方が参加したことに大変満足かは満足と回答しています。また、畜産振興会主催による大野山フェスティバルは平成五年度から二十二年間開催されましたが、丹沢の山なみをバックに演奏されるアルプホルンの牧歌的な響きが脳裏に焼きついている方も多いと思います。本県最西端のJR御殿場線谷峨駅からハイキングで一時間三十分のこの地に県営牧場があり、半世紀に亘って本県酪農振興の一端を担ってきたという軌跡は、本県畜産の歴史に深く刻まれることでしょう。

（大野山乳牛育成牧場 高尾）